

助成金等使用実績報告書

令3年11月19日

受託者 三井住友信託銀行 御中

標記公益信託による助成金の使用状況につき下記のとおり報告します。

(下記所属機関情報等に変更あれば訂正記入してください。)

申請者	氏名 (団体名)	ココカラジッコウイインカイ ここから実行委員会		
	団体の場合	代表者	吉村 ゆみ	担当者
	住所 (所在地)			
	連絡先	〒 同上 TEL ()		
事業題目	第4回「ここから」—吉村ゆみリサイタル			
助成金額	¥100,000	実施期間	令和3年10月15日	
助成金の用途	摘要			金額(単位:円)
	演奏料(大和鼓、地唄、平成音大、囃子) 賃借料(衣装、かつら、小道具) 人件費(衣装方、狂言方、落語) 旅費宿泊費(東京12大阪2京都5大分1) 会場費(県立劇場2日分 楽屋6室 付帯設備使用料) 印刷費(チラシ ポスター 入場券 パンフレット お札状) 運送料(箒、鳴物、衣装、かつら、小道具) 祝儀(演奏者、出演者) 採譜料 大道具 照明料 食料費(弁当 夕食 2日分 約80名) 雜費(通信料、印紙、感染対策費他) ビデオ			2,380,000 1,058,500 571,000 801,260 737,540 203,160 158,000 570,000 200,000 495,000 350,000 334,940 230,440 200,000
	合計			8,289,841円
事業実施結果概況 (書ききれない場合は裏面に記入のこと)	昨年10月に予定しておりましたが、コロナ禍のため一年延期し、状況が定まらない中、開催を決意致しました。パンデミックの中、平日開催にも関わらず、ほぼ満席となり嬉しい誤算でした。(客席50%) 近年、日本舞踊公演の観客激減の折、何とか劇場へ足を運んで頂けるよう新しいスタイルにチャレンジし実験的な舞台作りを試みました。落語と舞、洋楽と能囃子のコラボ、上演時間の短縮等です。落語は、やや難解な舞を分かり易く前説として楽しく笑って頂けるよう、また異なるジャンルの演奏家、特に洋楽家と伝統芸能と舞は初めての試みであります。伝統芸能になじんだ事の無い若い洋楽家達には大きな刺激となりました。今後は後進のため後押しできる立場となって尽力するつもりです。観客の皆様から「幸せな1日だった」と多くのお声を頂き、こんな時期だからこそ開催に踏み切り一番の目的は果たしたと確信致しております。貴財団の御助成を頂きましたことを、心より有難く感謝申し上げます。			

助成金受領後1年以内に、本「助成金等使用実績報告書」に下記のものを添えて右記に送付ください。

- 社
篇
- ① 領収書・請求書等の確認の写し
 - ② 基金の助成事業を表示したところが判る
写真やパンフレット

送付先

〒105-8574
東京都港区芝3-33-1
三井住友信託銀行 個人資産受託業務部
公益信託グループ
熊日文化スポーツ基金 報告口

- 本報告書でご提供いただく氏名・住所等の個人情報については、当基金の助成事業のためのみに使用します。
なお、当該個人情報は、運営委員会等への提供に加えて信託管理人や主務官庁等に提供・公表することがあります。

受託者 使用欄	受付日	受付印	管理表	運営担当	チーム長	備考
						熊 05-2021-2 回 2-4

收入

	金額(円)	摘要
助成金	200,000	熊本放送文化振興、賛同、毎日文化スポーツ基金
竹下壳上	1,879,800	一般 4,000 48枚 学生 1,000 12枚
出演経費	1,000,000	「茶音頭」出演料
自己資金	5210,041	
合計	8,289,841	

支出

便途	金額(円)	摘要
演奏料	2,380,000	大和集、地歌、洋集、囃子
賃借料	1,058,500	衣裳、かつら、小道具
人件費	571,000	衣裳方、かつら師、狂言方、贊助出演者
旅費 宿泊費	801,260	東京 12、大阪 2、京都 5 大分 1
会場費	737,540	リハーサル 本番 2 日分 附設備、樂屋
印刷費	203,160	案内状 お札状 450 枚 チラシ 1000 枚 ポスター 100 枚 ポンフレット 700 冊
運送費	158,000	樂器、衣裳、かつら、小道具、筈
祝儀	570,000	演奏者、スタッフ、出演者
採譜料	200,000	「雪路」採譜
大道具	495,000	一式
照明料	350,000	一式
食料費	334,940	夕食 20 名 各当 80 × 2 日分
ビデオ	200,000	一式
雜費	230,441	通信、感染対策、樂屋備品、茶
合計	8,289,841	



ごあいさつ

吉 村 ゆ み

錦秋のみぎり皆様におかれましては益々ご清祥の御事とお慶び申し上げます

昨年より延期致しておりました本公演にご来駕賜り心より厚く御礼申し上げます
平成元年春五世家元吉村雄輝夫師に師事し早や三十三年の月日が流れました
果てしなく厳しくも幸せな修業時代でした

この度は初めて二十才の時舞を見て衝撃を受けた「ねずみの道行」をわかり易く
ご覧頂く為創作落語を三代目林家菊丸師匠に子の助役に花柳龍知郎様にて助演
頂きますまた「雪鷺」は嚴冬の中じっと耐え雪解を待つて大空へ飛び立つ鷺の姿
を希望に変えこの困難な時代と重ね合わせ舞わせて頂きます

本日は若い時より共に研さんと交らぬ友情を紡いで頂いた高濱流光華々様 藤間絲恵様
花柳舞美輔様始め小鼓の師藤舎呂悦 貴生父子様 地歌の菊原光治様長唄の師 大和久子様
(今藤珠美) 平成音楽大学の出田敬三学長様方々に大きな華を添えて頂きますこと
この上もなく光栄に存じますパンデミックのこのご時世だからこそ日常を忘れ
舞台を楽しんで頂き明日への活力ともなって頂ければ何より嬉しい事と存じます
最後までご高覧賜り拙き舞にも暖かい拍手を送つて頂ければ幸に存じます

本日のご来場誠にありがとうございました